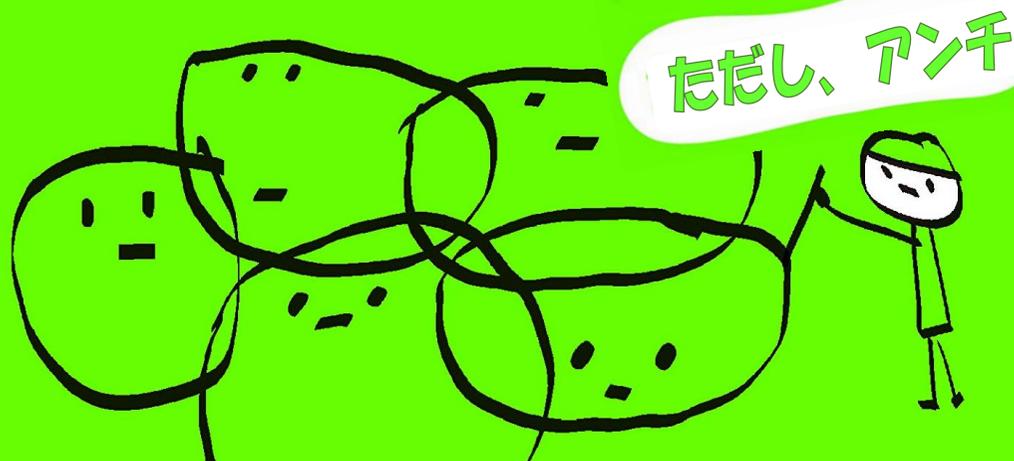


みんなで議論する！

東京パラリンピック！



日本でも世界でも、オリンピック反対運動の中に「パラリンピックも反対」の意見がほとんどみられない。オリンピックたちには「オリンピック反対」を表明できても、パラリンピックたちには遠慮しているのだとしたら、この「遠慮」こそ差別につながらないだろうか。

圧倒的に議論が足りないパラリンピックの問題。パラリンピック開催（2020年8月25日～9月6日）を一年後に控えた今回、障害児を普通学校へ全国連絡会で活動してこられた北村小夜さんと、『親子で読む！東京オリンピック！ただし、アンチ』の近著がある自由すぽーつ研究所の岡崎勝さんにパラリンピックについて大いに語っていただきます。ただし**アンチ**！

障がい者スポーツは、記録や勝敗やビジネスを前提としたエリート競技スポーツとは違い、スポーツを楽しむ場所や機会の拡充という形で発展してきているといわれていますが、「競技である限り差別の助長につながらないか」「競い合わないスポーツはありうるのか」など根源的な問いについても議論できればとおもいます。

また「健常」という「国民の責務」を果たさない、つまり戦争に行けないという「非国民」の範疇から脱出するための装置の一つとしてパラリンピックがあるのではという議論、皇室による観戦と慰労、オリパラ道徳教育、感動の強制、高額な義肢器具、オリパラの一体化など、パラリンピックが記録やメダルをともなう国威発揚に政治利用されてないかといった問題についても、みんなで議論したいと思います。

日時：9月8日（日）13:30 資料代：500円

場所：アカデミー茗台学習室A（メトロ「茗荷谷」駅徒歩10分）

講師：北村小夜さん 障害児を普通学校へ全国連絡会

岡崎 勝さん 自由すぽーつ研究所

主催：2020 オリンピック災害おことわり連絡会

東京都千代田区神田淡路町 1-21-7 静和ビル 1階A

スペース御茶ノ水 ATTAC 首都圏気付 info@2020okotowa.link
fb.com/okotowalink/ @okotowa_link

